

救急医学

M-03-14-L

オーガナイザー

救急・集中治療部 井上 茂亮

I 授業の目的

医療全体の中での救急医学の役割を認識し、生命危機に値する生体侵襲と病態生理を理解する。

II 到達目標

(1) 救急医学総論

1. 救急医療システムが理解できる。
2. 救急医療の歴史を理解し地域における救急医療の問題点を把握する。
3. 救急診断の特殊性を理解し一般診療との違いを述べることができる。
4. メディカルコントロールについて理解する。

(2) 心肺蘇生

1. BLS が実施できる。
2. ACLS が理解できる。

(3) 外傷

1. 外傷診療の仕組みとその手順が理解できる。
2. 病院前、病院内での診療ガイドラインが理解できる。
3. 頭部・胸部・腹部・四肢外傷に対する緊急対応が理解できる。

(4) 救急外来診察と画像診断

1. 救急患者の診察手順を理解できる。
2. 救急外来・集中治療室における画像診断の適応が理解できる。
3. 代表的な救急疾患の特徴になる画像を説明できる。

(5) Acute care surgery

1. 急性腹症の鑑別と病態が理解できる。
2. 緊急手術、緊急内視鏡の適応と処置が理解できる。
3. ダメージコントロールサージェリーの概念が理解できる。

(6) 症状：徴候からみた救急疾患

1. ショックの病態と分類が理解できる。
2. 重症呼吸不全の病態と分類が理解できる。
3. 急性腎不全の病態が理解できる。
4. 多臓器不全の病態が理解できる。

(7) 重症救急患者の管理

1. 人工呼吸器の適応と設定が理解できる。
2. 血液浄化法の分類と適応が理解できる。
3. 補助循環の適応が理解できる。

(8) 救急特殊疾患

1. 急性中毒のスクリーニングと初期治療が理解できる。
2. 熱傷の病態と全身管理が理解できる。
3. 熱中症、偶発性低体温の病態と治療が理解できる。

(9) 災害医療・航空医療

1. 集団災害の定義と概念が理解できる。
2. 我が国の災害医療対応システムが理解できる。
3. トリアージが理解できる。

(10) 救急内科疾患

1. 内因性救急疾患の病態を理解できる。
2. 内因性救急疾患の対応や治療が理解できる。

- (11) 重症感染症・救急感染症
1. 救急感染症を理解できる。
 2. 感染対策を理解できる。
 3. 重症感染症の病態を理解できる。

III 講義項目と担当者

1. 救急医学総論	救急・集中治療部	井上 茂亮
2. 心肺蘇生	救急・集中治療部	川嶋 秀治
3. 外傷	救急・集中治療部	上田 健太郎
4. 救急外来診察と画像診断	救急・集中治療部	米満 尚史
5. Acute care surgery	救急・集中治療部	国立 晃成
6. 重症救急患者の管理	救急・集中治療部	島 望
7. 症状：徴候からみた救急疾患	救急・集中治療部	置塩 裕子
8. 救急特殊疾患	救急・集中治療部	田中 真生
9. 災害医療・航空医療	救急・集中治療部	柴田 尚明
10. 救急内科疾患	救急・集中治療部	中島 強
11. 重症感染症・救急感染症	救急・集中治療部	宮本 恭兵

IV 推薦テキスト及び参考書(◎テキスト)

標準救急医学第5版 ◎	医学書院	8,250 円
今日の救急治療指針第2版	医学書院	14,300 円
外傷初期診療ガイドライン (第6版)	へるす出版	16,500 円
改訂第2版 DMAT 標準テキスト	へるす出版	5,200 円
JRC蘇生ガイドライン2020	へるす出版	5,500 円

V 評価方法

授業の60%以上の出席をもって定期試験の受験資格とする。
定期試験で60%以上の得点をもって合格とする。

VI オフィスアワー

救急・集中治療医学 随時

【連絡方法】 eccm@wakayama-med.ac.jp (担当：山口美樹)

【備考】 アポイントをお願いします。

卒業時 コンピテンス	1 基礎的資質				2 医師としての基本的資質				3 コミュニケーション能力				4 医学的知識										5 医学の実践										6 医学的(科学的)探究				7 社会貢献											
	問題解決型能力	情報技術	語学能力	社会人としての一般教養	倫理観	チーム医療	自己啓発	人間関係の構築	他者の思いやり	情報交換	細胞の構造と機能	人体の構造と機能	人体の発達・成長・加齢・死	疾病の機序と病態	検査・画像診断技術	基本的診察知識	疾病の診断・治療方法	EBIの利用	生物統計・疫学	行動科学・医療経済	法令・研究倫理	患者尊厳	基本的臨床技能	臨床推論・検査所見・画像診断	診療録作成	治療選択	救急医療	緩和・終末期・看取りの医療	介護と在宅医療	患者説明	医療安全・感染予防	予防医学	副作用・薬害	プレゼンテーション技能	和歌山県医療	保健制度	基礎医学研究	臨床医学研究	社会医学研究	研究成果の公表	研究倫理の実践	地域貢献	福祉活動	ボランティア活動				
	E	D	F	E	E	D	F	D	E	F	E	E	E	C	D	D	D	E	F	E	E	D	B	E	E	F	E	B	D	E	D	D	E	E	D	D	D	E	F	F	F	F	F	F	F	E	F	E

講義日程表

No.	月日	曜日	時限	項目	担当教室	担当
1	R8.1.28	(水)	4	救急医学総論・MC	救急集中治療部	井上 茂亮
2	R8.1.28	(水)	5	心肺蘇生	救急集中治療部	柴田 真未
3	R8.1.29	(木)	4	救急外来診療と画像診断	救急集中治療部	米満 尚史
4	R8.1.29	(木)	5	症状:徴候からみた救急疾患	救急集中治療部	置塩 裕子
5	R8.1.30	(金)	4	Acute care surgery	救急集中治療部	国立 晃成
6	R8.1.30	(金)	5	外傷	救急集中治療部	上田 健太郎
7	R8.2.4	(水)	4	救急特殊疾患	救急集中治療部	田中 真生
8	R8.2.4	(水)	5	重症救急患者の管理	救急集中治療部	島 望
9	R8.2.5	(木)	4	重症感染症・救急感染症	救急集中治療部	宮本 恭兵
10	R8.2.5	(木)	5	災害医療・航空医療	救急集中治療部	柴田 尚明
11	R8.2.6	(金)	4	救急内科疾患	救急集中治療部	中島 強
12	R8.2.12	(木)		本試験		